

特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

平成 26 年度から 5 年間、文部科学省のスーパーグローバルスクール(SGH)指定校、また、令和元年度から 3 年間、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」指定校として、「総合的な探究の時間（グローバル明教）」の時間に行う課題研究等の取組を通して、グローバルな視点を身に付け、地域課題の解決に貢献できるグローバル人材の育成に努めてきた。

事業終了後も、同様の取組を継続し、課題発見力・企画立案力・協働実践力からなる地域マネジメント力と、コミュニケーション能力・思考力・表現力の育成を目指す。

(1) 教育課程の特例を活用して実施する新設教科・科目等（※印は学校設定科目）

・「明教探究基礎」（1 年生 2 単位）

前半は講演や企業フィールドワーク等を通して地域課題への理解を深め、後半は地域の課題解決や魅力発信、活性化などについて、それぞれがテーマを設定し、課題研究に取り組む。本特例により、「総合的な探究の時間」（1 単位）と「情報 I」（1 単位）の代替科目として実施するため、課題研究を行う中でデータ収集や分析、プレゼンテーション時の情報デザイン等を実践的に学ぶ。

・「GL 明教探究」（2 年生 2 単位）

多様な地域人材を活用し、専門家からの指導や助言を受けながら、GL（グローバル）コース生がそれぞれのテーマを探究する課題研究に取り組む。本特例により、「総合的な探究の時間」（1 単位）と「保健」（1 単位）の代替科目として実施するため、感染症の発症と予防や医療制度、危機管理等について学ぶ「グローバル保健講座」を設ける。

(2) 地域や学校の特色とその特色を生かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本校は県内随一の伝統を誇り、県内外及び国外で活躍する人材を輩出してきた。平成 26 年度からの 8 年間、文部科学省事業の指定校として様々な教育活動を行う中で目指してきた「グローバルな視野を持ち、地域課題の解決に貢献できるグローバルリーダーの育成」は、地域の負託に応えるために今後とも目指すべき方向性である。生徒・保護者の満足度や評価も高く、大きな教育効果が期待できるこの取組を、本特例による教育課程を編成し、「松山東高グローバル事業」として継続していきたい。

(3) 特例の適用開始日

令和 4 年 4 月 1 日